

井上圓了（おのり）、哲學者。安政五年二月四日越後國生れ、大正八年六月六日没（おんろく）（八六一一九九）。幼名岸丸、襲名。號不思議庵、不知歌齋、四聖堂、妖怪洞主人、妖怪窟、泥蟻、拙筆居士、潛生、無憂庵、狷者、瓢生、南水、南水道人、碌生、非僧非俗道人等。明治十八年東京大學文學部哲學科卒。二十一年國家學會、哲學館を創立。翌年杉浦重剛、三宅雪嶺等と政教社を興す。二十七年東洋哲學會を設立し、機關誌『東洋哲學』を創刊。妖怪の研究に有名。文學博士。

著書『倫理通論』（卷一、卷二）再版・明治二十年八月普及舎）、『哲學汎論』（合著・菅野幹編輯并評、明治二十年十月林竹二郎出版・阪市學書房、西島拾次郎、賜々堂本店發兌）、雄辨、大家實地演說筆記（合著・内山龜太郎編、明治二十一年二月京都・改進堂書店）、『宗教新論』（明治二十一年二月二十一日哲學書院）、『佛敎活論序論』（第二版一訂正出版・明治二十一年四月哲學書院）、通信『敎育心理學』（明治二十一年八月）二十一日通信講學會、普及舎發兌）、『星東想遊記』（明治二十二年一月）二十四日哲學書院）、通信『言文一致』哲學早わわ』（明治二十二年一月十八日開發社）、通信『繪入妖怪百談（一名偽怪百談）』附鬼門論』（第二版・明治二十二年十月二十日四聖堂）、『南水論集』（中尾祖應編、明治二十五年四月六日博文館）、『修身敎會談話百題』（明治二十六年九月十四日哲學館）、『男女學生氣質（附學生消息法）』（合著・新八論社）高島大圓編、明治二十九年二月二十九日鶴聲堂書店、

『折哲學新案』（明治四十一年十一月九日弘道館）、可『妖怪叢書』（大正五年一月五日丙午出版社）、可『哲學茶話』（大正五年五月五日磯部甲陽堂）、可『奮闘



『折哲學新案』（明治四十一年十一月九日弘道館）、
可『妖怪叢書』（大正五年一月五日丙午出版社）、
可『哲學茶話』（大正五年五月五日磯部甲陽堂）、
可『奮闘

哲學』(大正六年五月) 千五百東亞堂書房「縮刷名著叢書」)、
『教育勸諭略解』(廿五版・大正九年一月) 千八百松邑(二松堂)、
『處世哲學』(大正十五年十一月) 千五百忠誠堂) 等。
文獻 『井上圓了先生』(二編政一編、大正八年九月四日東洋大學校友
會) 等。